

牛久：学校周辺に見る自然

第12号 ひたち野西近隣公園（ひたち野うしく小）

2013年7月22日発行

＜ 夏の動物観察 ～みずべ公園 ③バッタの仲間 ＞

ひたち野うしく小3年生と歩いた、夏のみずべ公園。今回はバッタのなかまです。



ショウリヨウバッタの幼虫。はねが伸びてないので、幼虫と分かる。褐色のもいる。

まずは、ショウリヨウバッタの幼虫。今年も、バッタの仲間では一番多く見られました。それにしても小さいですね。小さいだけでなく、はねが伸びてないので成虫と見分けるポイントでした。緑色の方がずっと多かったけれど、褐色のもも見られましたね。体の色はすんでいる場所、食べている葉の色と関係があるのでは？という意見も出ましたが、調べてみてはいかがでしょうか。何か分かったら、教えて下さいね。



トノサマバッタの幼虫(上2枚)と成虫(下)。



トノサマバッタの幼虫も見つけましたね。やはり、はねがまだ伸びていません。成虫を見つけたお友だちもいましたね。クルマバッタというよく似たバッタもいます。そちらは背中が少しもりあがると、はねのもよ^{せなか}うの違いで見分けられるといわれますが同じ種類でも差があり、^{かくじつ}確実なのは後ろはねを広げて黒い帯があればクルマバッタ、なければトノサマバッタです。

<http://blog.city.tsukubamirai.lg.jp/blog/fuku971/archives/6163>



こちらも多く見られたコバネイナゴ。大小いろいろいましたが、こんなに小さいのも。かさや指先とくらべると、いかに小さいかが分かりますね。よく見つけました。これもよ〜く見ると、はねがまだ出きていません。他のバッタとくらべはねが短めなのでこの名がありますが差があり、けっこう長いものもいます。

コバネイナゴの幼虫。





ウスイロササキリのメス。うす茶色の長いはね、長い触角(しよっかく)が特ちょう。雑食(ざっしょく)。剣のようなめだつ産卵管(さんらんかん)があるのでメス。

こちらはウスイロササキリ。はねが伸びているので成虫。剣つるぎのような産卵管さんらんかんが目だつのでメスです。はねがうすい茶色で笹(ささ)などを食べるので「うす色笹切り」と名がついたようですが、雑食ざっしょくでガのまゆなども食べるそうです。人に気がつくと、茎くきの反対側などにかくれます。



最後に、どうもキリギリスのなかまのようなのですが、名前の分からなかった幼虫です。お友だちが指先でつまんでくれていますが、小さいですね。腹部(ふくぶ)の背中側にこぶのようなものがありますが、だんだんと伸びていったり変わるものなのでしょうか。それとも何かの病気なのでしょうか。バッタの仲間くわに詳しい方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えて下さい。よろしくお願いします。

【理科支援員：宮内】



キリギリスのなかま？の幼虫。腹部(ふくぶ)のせなか側に、こぶのようなものがある。